



総研大ニューズレター

第34号 2011.3 発行

●目次

【今月のトピックス】	「自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター 10周年記念シンポジウム 開催 岡崎統合バイオサイエンスセンター」
	「第二回 実践的大学院教育研究会 開催 学融合推進センター」
	「天文科学専攻 アジア冬の学校 開催 天文科学専攻」
	「総研大キャリア形成セミナー 開催 学務課」
	「サイエンスカフェ ～二つ目の地球～ 開催 総務課」

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定

3月18日	統計科学専攻・学生研究発表会
3月18日	北川教授（所長）最終講義
3月23～24日	学術交流会
3月24日	学位記授与式
3月24日	長倉研究奨励賞・総合研究大学院大学研究賞 発表会・授与式
4月7日	入学式
4月7日	総合研究大学院大学 学長賞授与式
4月7日～8日	学生セミナー

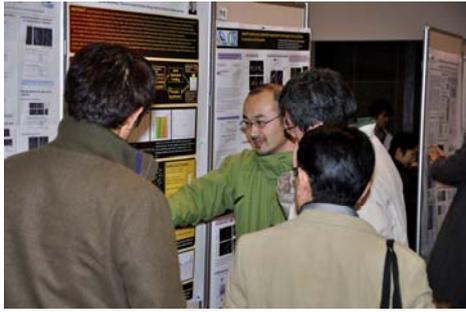
【今月のトピックス】

● 自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター10周年記念シンポジウムを開催

平成23年2月10日から12日にわたって、自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター10周年記念シンポジウムが、岡崎コンファレンスセンターで開催されました。

岡崎統合バイオサイエンスセンターは、2000年4月に岡崎3研究所（分子科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所）の共通施設として設立されました。自然科学研究機構発足後は、岡崎共通研究施設として現在に至っています。本センターは、分子科学・基礎生物学・生理科学などの学際領域にまたがる諸問題に対し、総合的な観点と方法論を適用・駆使し、新たなバイオサイエンスを開拓することを目的として、3研究所に属する研究者が“研究所の枠を超えて”集う組織です。





シンポジウムでは、センターが大きな目標として取り組んでいる、生命機能分子から生命システムの全体像にせまる統合バイオサイエンスというテーマのもとに、6つの講演セッション（方法論・装置開発、生命機能分子解析(1)、(2)、生命機能分子探索、計算機シミュレーション、高次生命現象）が設けられました。センターと岡崎3研究所の研究者はもとより、最先端のバイオサイエンスを展開している国内の研究者総勢25名による講演が行われ、生命現象の統合的理解を見据えたディスカッションが繰り広げられ

ました。初日にはポスター発表も行われ、総研大生とセンターの若手研究者を中心とする討論が大いに盛り上がりました。2日目は雪に見舞われましたが、会場の中は白熱した空気に包まれ、コーヒーブレイクの場でもいたるところで熱心な議論が続けられました。会期中には、センターの設立までの経緯とこれまでの沿革を振り返る交流会とともに、将来構想に向けた意見交換会も行われました。

約180名の参加者が集い、10年という節目を迎えた岡崎統合バイオサイエンスセンターが、これを契機として新たな発展を遂げることを十分に期待させる3日間の記念シンポジウムでした。

【文責 機能分子科学専攻 教授 加藤晃一】

● 第二回 実践的大学院教育研究会を開催

大学院における協調学習を考える

実践的大学院教育研究会は、学融合推進センターの学術交流事業が、大学院における全学教育の在り方を探るべく、開催している研究会です。本年度2回目の実践的大学院教育研究会のテーマは、「大学院における協調学習を考える」です。

協調学習とは、教師が学生に一方的に知識を伝達するのではなく、学生が他者との対話や実践を通して自ら学んでいく学習です。大学院における学習においても、学びあうという学習スタイルは有効だと考えられます。

そこで、本研究会では協調学習の有効性を認知心理学の観点から研究されている、東京大学の三宅なほみ先生と、大学における協調学習の実践も行っておられる京都大学の溝上慎一先生をお招きし、大学院教育において協調学習の視点の可能性についてご講演いただきました。

学習とは、知識を知ることではなく、伝達された知識を統合し、課題を解決する力を身に着けることである、と三宅先生は語られます。知識の統合化、課題の解決への応用力を獲得するためには、単に知識を教えられるだけでなく、その知識について他者と語り合い、理解する必要があります。協調学習のスタイルは、その部分を支援しています。大学院での教育は、単に言われたことができるようになる人材を育成するトレーニングではなく、学んだものから新たな課題解決を導き出すことができる人材を育成するエデュケーションでなければならないと締めくくられました。

青年心理学がご専門である溝上先生は、人間にとって他者の存在について語られ、人間の自己形成部分に他者が強く関係していることを語られました。また、ご自身が行われた大学生の実態調査によると、勉強に積極的な学生は、その他の活動、サークル活動や友人との活動にも積極的である、という結果をご報告されました。この調査結果から、大学院教育においても、学生の研究支援だけではなく、学生の研学生活全般を支援していく必要があると考えられます。

大学院教育研究会では、大学院教育に関するあらゆるテーマを今後扱っていくつもりです。現在、全学教育担当教員が中心にご参加いただいておりますが、興味のある方は是非ご参加ください。

【文責 学融合推進センター 助教 奥本素子】



● 天文科学専攻「アジア冬の学校」を開催



2011年2月7日から11日までの5日間、国立天文台三鷹において、物理科学研究科天文科学専攻のアジア冬の学校として、「東アジア干渉計冬の学校」を開催しました。ミリ波サブミリ波の干渉計観測、またはVLBI観測に関心のある東アジアの若手研究者（大学院生、ポスドク）が主な対象でした。参加者の内訳は、日本国内から29名、韓国から13名、台湾から13名、中国から12名、オランダとオーストラリアから各1名の計69名でした。最初の2日間に講義を行い、電波天文学の基礎、目指すサイエンス、電波望遠鏡の仕組みや、干渉計観測における観測手法、観測準備について説明しました。次の2日間は、アルマ観測準備ソフトウェアOTとデータ解析ソフトCASAを用いたALMAコースと、VLBIデータ解析ソフトAIPSを用いたVLBIコースに分かれ、チュータの指導のもとソフトウェアについての実習を行いました。最終日には、希望者を対象に国立天文台野辺山宇宙電波観測所・太陽電波観測所の見学を行いました。これらの知識、経験を通じて若手の優秀な天文学研究者が育っていくことを期待しています。なお、世話人は立松健一（総研大、国立天文台ALMA、世話人代表）、廣田朋也（総研大、国立天文台水沢VLBI、世話人副代表）、萩原喜昭（総研大、国立天文台水沢VLBI）、樋口あや（国立天文台ALMA）、久野成夫（総研大、国立天文台野辺山）が執り行いました。



【文責 天文科学専攻 教授 立松健一】

● 総研大キャリア形成セミナーを開催

今春の大学新卒の就職内定率は、過去最悪などと報道されていますが、大学院生も例外ではありません。むしろ、状況はより深刻であるとも言えるかもしれません。未だ日本の大学院において修了後の進路形成についての制度づくりは十分とは言えず、それは本学においても同様です。そこで、大学院での研究を社会でどのように活用するのか、どのように進路を形成するのかを考える機会として、本学初の試みとなる「総研大キャリア形成セミナー」を1月27日に都内、学術総合センターにて開催しました。

立教大学大学院ビジネスデザイン研究科の小島貴子先生を講師としてお招きし、「キャリアは開発できるのだろうか？」というテーマで講演していただきました。小島先生は、ドクターの人は挑戦する力や意見を伝える力など社会人に必要な能力を持っているにも拘わらず、日本の社会において正しく評価されていないという現状を指摘。その上で、具体的な目標を持ち、書いたり話したりして言葉にすること、そうすることで自ずと自信が付き、チャンスもつかめるようになるということをおっしゃっていました。講演の途中には参加した学生同士（計8名）でグループワーキングを行い、研究科や専攻がまったく違う人たちの間でも活発な意見交換がされました。

終了後、今回は特別に小島先生のご紹介で株式会社牧野プライス製作所の人事担当の方に来ていただき、「博士が会社で働くということについて」を中心にお話していただきました。

セミナーは14時から15時30分までの予定でしたが、参加者から先生への質問が予想以上に多く、予定を大幅に延長して終了したのは16時20分でした。「小島先生の話は大変ためになった」、「次回があったらまた参加したい」、「研究のモチベーションが上がった」など、参加者からの反応もとても良く、初めての試みとしては大変良いものだったのではないかと思います。

今回ははじめての試みで、今後のセミナー開催の時期・内容については未定ですが、前向きに検討していきたいと思えます。



【文責 学務課】

● サイエンスカフェ ～二つ目の地球～ を開催

1月14日（金）に、葉山町内のレストラン「夕風亭」を会場に葉山本部主催のサイエンスカフェを開催しました。今回は10代から70代まで幅広い年代の方々18名の参加がありました。

講師として、本学の学融合推進センターの眞山聡助教を迎え、「二つ目の地球」と題して2時間の講演を行いました。地球の質量に迫る惑星が、太陽系外に発見されつつあり、今後10年程度で地球そっくりな惑星が発見される可能性があること、また、ハワイにある一枚鏡で世界最大の「すばる望遠鏡」のことなどを紹介していただきました。



人類はこの地球上で孤独な存在なのか？広い宇宙のどこかに生命を宿す惑星は存在するのか？このようなテーマに強い興味を持って参加した方が多く、積極的に質問がなされていました。

また、終了後のアンケート結果においても、「とても満足」「満足」と回答した方が多く、本学における研究成果を一般の方にわかりやすく伝えるというサイエンスカフェ本来の目的は充分達成されたようでした。

【文責 総務課】

【各種募集】 現在公募中の情報

事 項	応募期間	提出先
国立天文台滞在型研究員	随時(滞在希望初日の前月1日まで)	国立天文台研究支援係
学融合推進センター 研究論文助成	随時	総合研究大学院大学 総務課葉山事務室
http://center.soken.ac.jp/act/thesis.html		

【イベント情報】

● 総研大の行事

3月

日程	時間	行事名	場所
18日(金)	13:00-15:15	統計科学専攻・学生研究発表会	統計数理研究所 3階 セミナー室1(D305)
http://www.ism.ac.jp/senkou/			
18日(金)	15:30-17:00	北川教授(所長)最終講義	統計数理研究所 2階 大会議室
http://www.ism.ac.jp/senkou/			
23日(水) -24日(木)		学術交流会	湘南国際村センター
24日(木)		学位記授与式	葉山キャンパス
24日(木)		長倉研究奨励賞・ 総合研究大学院大学研究賞 発表会・授与式	葉山キャンパス

4月

日程	時間	行事名	場所
7日(木)		入学式	葉山キャンパス
7日(木)		総合研究大学院大学 学長賞授与式	葉山キャンパス
7日(木) -8日(金)		学生セミナー	葉山キャンパス、 湘南国際村センター

5月

日程	時間	行事名	場所
21日(土)		生命共生体進化学専攻 入試説明会	ホテル東京ガーデンパレス
28日(土)	13:00-17:30	遺伝学専攻 大学院説明会	国立遺伝学研究所
http://www.nig.ac.jp/jimu/soken/setumeikai.html			

● 基盤機関の行事

3月

日程	時間	行事名	場所
10月23日(土) -3月31日(木)		貴重書展示 「渋川春海と『天地明察』-Ⅱ」	国立天文台図書室
http://library.nao.ac.jp/kichou/open/043/index.html			

1月8日(土) -3月31日(木)		春のみんなくフォーラム 2011— ことばの世界へ	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/			
1月9日(日) -3月27日(日)	13:00-14:30	「春のみんなくフォーラム 2011—ことばの世界へ」関連 ことばで世界一周	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/sekai.html			
2月8日(火) -4月3日(日)		和宮ゆかりの雛かざり	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/others/press/p110208.html			
3月1日(火) -5月5日(木)		企画展示 侯爵家のアルバム -孝充から幸一にいたる木戸家写真資料-	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/others/press/p110301.html			
3月3日(木) -6月14日(火)		特別展「ウメサオタダオ展」関連企画展 「民族学者 梅棹忠夫の眼」	国立民族学博物館 企画展示場 A
http://www.minpaku.ac.jp/special/umesao/event.html			
5日(土) -6日(日)	5日: 13:00-17:00 6日: 10:00-17:05	機関研究「支援の人類学」人間文化研究機構 国際シンポジウム『『日常』を構築する～アフリカにおける平和構築実践に学ぶ～』 Constructing "Ordinary Life":Lessons from Peace Building Practices in Africa	国立民族学博物館 5日:講堂 6日:第4セミナー室
http://www.minpaku.ac.jp/research/fr/20110305-06.html			
6日(日)	13:30-14:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第196回講演 「アマゾンのゴムブーム」	国立民族学博物館
6日(日)	15:00-16:30 (開場:14:30)	「春のみんなくフォーラム 2011— ことばの世界へ」関連 特別講演 「ごみたろう ことばをかたる」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/event.html#gomi			
3月10日(木) -6月14日(火)		特別展「ウメサオタダオ展」	国立民族学博物館 特別展示館
http://www.minpaku.ac.jp/special/umesao/			
11日(金) -13日(日)	11日: 10:00-17:15 12日: 10:00-17:15 13日: 13:10-16:30	人間文化研究機構国際シンポジウム「世界の 捕鯨文化の過去、現在、そして未来」	国立民族学博物館 11日・12日:2階第4セミナー室 13日:2階第5セミナー室
http://www.minpaku.ac.jp/research/pr/110219.html			
11日(金)	14:00-17:30	データ同化研究開発センター 設立記念シンポジウム データ同化:計測と計算の限界を超えて	統計数理研究所 2F 大会議室
http://daweb.ism.ac.jp/contents/information/dasympo2011.html			
12日(土)	12:00-15:30	MMP「点字教室」	国立民族学博物館 1階エントランスホール(無料ゾーン)
12日(土)	14:00-16:00	第327回歴博講演会 「爆発した前方後円墳信仰」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html			

17日(木)	開会式: 10:15-10:45 見学: 10:45より	オセアニア展示・アメリカ展示新構築オープニング	国立民族学博物館 オセアニア展示場入口前
18日(金)	18:30-20:30 (開場:17:30)	みんなく公開講演会「自然と向きあう人びとの今——太平洋とアフリカに見る——」	大阪市北区梅田 3-4-5 毎日新聞社ビル B1 オーバルホール
http://www.minpaku.ac.jp/research/dp/110318.html			
19日(土)	13:30-15:00 (開場:13:00)	「特別展 ウメサオタダオ展」関連 第394回みんなくゼミナール 「みんなく誕生」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar10.html			
19日(土) -20日(日)	19日: 13:00-17:00 20日: 10:00-15:00	公開ワークショップ・パフォーマンス 表現で 出会う・行動でつながる「インド刺繍～思いと 出会う・願いでつながる～」	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/110319-20.html			
20日(日)	14:30-15:30	特別展「ウメサオタダオ展」関連 みんなくウィーク エンド・サロン-研究者と話そう 第197回 講演「1981年12月、梅棹先生ご夫妻のお供 をしたモスクワ・中央アジアの旅」	国立民族学博物館
21日(月・祝)	10:30-16:00 (受付:10:15 より)	春のこどもワークショップ「絁(かすり)ってなに? -糸を括って染めて織ってみよう」	国立民族学博物館 第5セミナー室
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/ws_kasuri110321.html			
23日(水)	18:30-19:45	平成22年度 国立情報学研究所 市民講座 特別回「新しい情報社会の扉を開く 量子技術—量子コンピュータは本当に実現 できるのか?—」	学術総合センター 2階中会議場
http://www.nii.ac.jp/shimin/			
26日(土)	13:30-15:30	第144回くらしの植物苑観察会 「春を告げる華花」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/plant/observation/index.html			
27日(日)	14:30-15:30	特別展「ウメサオタダオ展」関連 みんなくウィーク エンド・サロン-研究者と話そう 第198回 講演「創造的知的生産の技術の確立をめざした 梅棹先生」	国立民族学博物館

4月

日程	時間	行事名	場所
3日(日)	14:30-15:30	特別展「ウメサオタダオ展」関連 みんなくウィーク エンド・サロン-研究者と話そう 第199回 講演「アフガニスタンのフィールドワーク回想 - 梅棹先生との出会いの思い出とともに」	国立民族学博物館
9日(土)	第1部 10:30-13:30 第2部 14:20-17:20	第30回宇宙科学講演と映画の会	新宿明治安田生命ホール 主催:JAXA 宇宙科学研究所

9日(土)	14:00-16:00	第328回歴博講演会 「木戸侯爵家の成立と木戸家資料」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html			
10日(日)	14:30-15:30	特別展「ウメサオタダオ展」関連 みんなくウィークエンド・サロンー研究者と話そう 第200回講演「文化行政から文化政策へ - ウメサオタダオ展にちなんで-」	国立民族学博物館
16日(土)	13:30-15:00 (開場:13:00)	特別展「ウメサオタダオ展」関連 第395回みんなくゼミナール 「霊長類学からみたウメサオタダオの文明論」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/special/umesao/event.html			
17日(日)	14:30-15:30	特別展「ウメサオタダオ展」関連 みんなくウィークエンド・サロンー研究者と話そう 第201回講演 「民博の日本民家展示(模型)と梅棹先生」	国立民族学博物館
4月19日(火) -5月8日(日)		くらしの植物苑特別企画「伝統の桜草」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
23日(土)	13:30-15:30	第145回くらしの植物苑観察会 「桜草を育てよう」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
24日(日)	14:30-15:30	特別展「ウメサオタダオ展」関連 みんなくウィークエンド・サロンー研究者と話そう 第202回講演 「『サバンナの記録』(梅棹忠夫著 1965)のフィールドから本格化した日本のアフリカ研究」	国立民族学博物館

5月

日程	時間	行事名	場所
1日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー研究者と話そう 第203回講演「梅棹さんに聞いたこと(仮称)」	国立民族学博物館
5日(木・祝)		特別展「ウメサオタダオ展」関連 研究公演 「心に草原を一馬頭琴がひらく、新たな世界」	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/special/umesao/event.html			
7日(土)	13:30-15:30	第12回歴博映画の会「船をめぐる信仰と習俗」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/movie/index.html			
8日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー研究者と話そう 第204回講演 「梅棹先生と大興安嶺と私(仮称)」	国立民族学博物館
14日(土)	11:00-12:00	歴博探検「写真は歴史のたからばこ」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/kids/explore.html			
14日(土)	14:00-16:00	第329回歴博講演会 「日本刀の素材と刀匠の技術」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html			
15日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー研究者と話そう 第205回講演 タイトル未定	国立民族学博物館

21日(土)	13:30-15:00 (開場:13:00)	特別展「ウメサオタダオ展」関連 第396回みんなぱくゼミナール 「青年ウメサオタダオの学問形成」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/special/umesao/event.html		
22日(日)	14:30-15:30	みんなぱくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第206回講演 「梅棹忠夫と中東イスラーム(仮称)」	国立民族学博物館
28日(土)	13:30-15:30	第146回くらしの植物苑観察会 「関東平野の里山の生い立ち」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
29日(日)	14:30-15:30	みんなぱくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第207回講演 「梅棹忠夫先生が登った白頭山(仮称)」	国立民族学博物館

【教員の受賞情報等】

高エネルギー加速器科学研究科

物質構造科学専攻

○ 伊藤晋一 准教授

高エネルギー加速器科学研究奨励会西川賞 受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター第34号をお届けします。

3月になり、まだまだ寒さの厳しい日もありますが、空気が春めいてきました。先日の暖かい日には庭にヒキガエルが現れ、啓蟄を実感いたしました。植物や生物は季節の移り変わりをちゃんと心得ていて活動を始めているようです。

さて、本号では岡崎統合バイオサイエンスセンター10周年記念シンポジウムがトップニュースです。10年を迎えたセンターの熱い心意気が伝わってくるようで、今後益々のご発展を祈念しております。また、大学院教育研究会やキャリア形成セミナーの記事も掲載されており、今後学生の研究活動やキャリア活動支援が大学としての重要な課題になってくるかと思われま

す。今の時期は業務も忙しくなり、また寒暖の差が大きく、花粉も飛び始めていますので体調を崩す方が多いようです。健康に留意して年度末を乗り切りたいものです。

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力をお願いします。

発行 2011年3月9日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2011 SOKENDAI